

平成 26 年度(2014 年度)南湖湖底改善区における水草の繁茂状況

井戸本 純一・中嶋 拓郎

1. 目的

ニゴロブナやホンモロコ、セタシジミの漁場として重要な琵琶湖南湖の機能を回復させるために造成された草津市地先の水ヨシ帯前面の砂地と湖底耕耘活動が継続的に行われている周辺区域について、水草（沈水植物）の繁茂状況をモニタリング調査した。

2. 方法

長期的な経年変化の比較を可能にするため、過去の湖底耕耘事業における調査地点を一部踏襲する昨年度の調査地点に、新たに造成された砂地の地点を加えて 21 か所に定点を設定した（図 1）。ロープに結んだ採集具（長さ 2m の鎖に 8 本の押しバネをはしご状に固定）を船上から約 5m 投げて水草を引上げ、1 定点につき 3 回の合計を採集量とした。

3. 結果

耕耘活動がはじまる前の 5 月と水草現存量

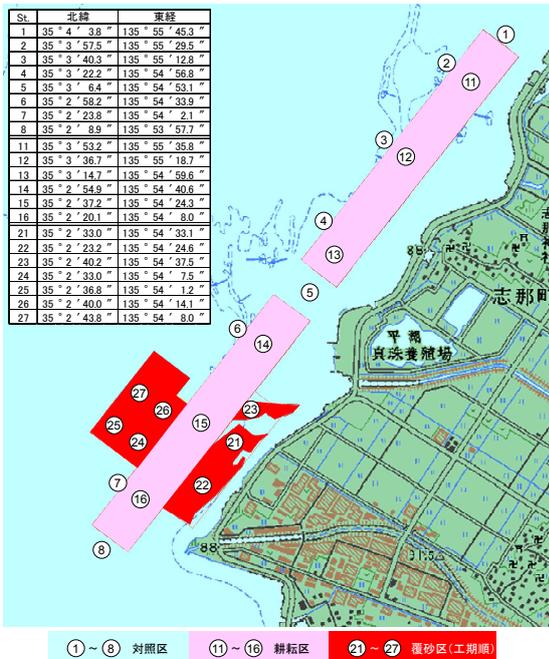


図 1 水草採集調査地点. 1~8: 对照区, 11~16: 耕耘区, 21~27: 覆砂区 (工期順).

が最大となったあとの 10 月の調査結果を表 1 に示した。沈水植物の平均採集量は、5 月には对照区 172 g、耕耘区 157 g、覆砂区 259 g、10 月にはそれぞれ 1198 g、724 g、878 g と前年にくらべて増加した。オオカナダモとコカナダモがほとんどの地点で出現し、優占種となる地点も覆砂区を中心に前年にくらべて増えた。一方、マツモが 5 月から 10 月にかけてほとんどの地点で消滅した。

表 1 各定点における水草の採集量と出現種

調査地点	採集量 (湿重量: g)		オオカナダモ	コカナダモ	ササバモ	センニンモ	マツモ	ホザキノフサモ	クロモ	コウガイモ	オオトリゲモ	シヤジクモ	フラスコモ
	区 分	定点 番号											
2014年5月23日													
对照区	1	49.9	422	○	○	◎	○	○	○				
	2	0.5	88	○	○	○	○	○					
	3	0	25	○	○	○	○	○					
	4	0.2	46	○	○		○		○				
	5	14.3	205	○	○	◎	○	○	○	○			
	6	1	364	○	○	○	○	○					
	7	0	130	○	◎		○	○					
	8	0	95		○		○	○					
耕耘区	11	65.6	52		○	○	○				○		
	12	29.6	178	○	○	◎							
	13	56	109	◎	○		○						
	14	25.5	407	◎	○		○		○				
	15	14.3	178	◎	○		○		○				
	16	0.2	17		○		○		○				
覆砂区	21	41.5	363	◎	○	○					○		
	22	1	720	◎	○	○							
	23	17.1	345	◎	○		○		○	○			
	24	0	174	○	○	○	○	○	○	○			
	25	0	161	○	○	○	○	○	○	○			
	26	1	48	○	○		○	○					○
	27	0	3		○		○						
2014年10月29日													
对照区	1	71.9	1,328	○	○	◎							
	2	15.5	1,215		○	○	○			○			
	3	1.6	1,898		○	◎							
	4	0.9	669	○	◎	○	○						
	5	92.9	997	◎	○	○	○						
	6	2.6	927	○	○	○	○		○				
	7	0	1,010	○	○		◎		○	○			
	8	0	1,540	○	○		◎		○				
耕耘区	11	35.6	277	○	○	○		○		○			
	12	5.2	565	○	○	○	○		○	○			
	13	86	380	◎	○	○	○				○		
	14	1	1,789	◎	○	○							
	15	0	1,200	○	◎		○			○	○		
	16	0	133	○	○	○	○						
覆砂区	21	73.8	1,636	◎		○				○			
	22	40.1	1,120	◎		○	○			○			
	23	15.8	1,514	○		◎			○				
	24	0	810	○	◎	○	○	○	○	○			
	25	0	382	○	◎	○	○		○	○			
	26	0	464	○	○	○	○					○	
	27	0	219	○	◎				○	○			

◎は優占種(採集量100g以上の地点で半分以上を占めるもの)